

ネットワーク月高

R5-1（5月6日号） 発行：北海道月形高等学校 e-mail：tsukigata-hi@hokkaido-c.ed.jp

月形から世界を見据え 自らの意思で行動し 自他共に思いやりの心を持つ生徒 をめざして

校長 安達 妙己

日頃から本校の教育活動にご支援ご協力いただいておりますこと
厚くお礼申し上げます。

4月に着任いたしました、校長の安達妙己です。どうぞよろしく
お願い申し上げます。



さて、先日、令和5年度入学式が行われ、不安と緊張の中にも希望に満ちた表情の7名の入学生を迎えました。
ご多用な中、列席いただきましたご来賓の皆様、保護者の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申しあげます。

コロナ禍が3年続きましたが、昨年度より学校生活が徐々に平常に戻りつつありました。そして、国の新型コロナウィルス感染症対策がこの春から変更されることとなり、学校生活へも変化が見られることと思います。コロナ禍で学校生活が一変し、大きな声での話し声や笑い声、生徒達の笑顔がマスクで覆われてしまったこと、ソーシャルディスタンスによるじゃれ合う姿の減少等々。今まで当たり前だと思っていた高校生の日常が見られない時間を、生徒とともに教職員一同一緒に過ごしてきました。今年度は、生徒の笑顔も、笑い声も聞こえる賑やかな日常が送れることを願っています。

本校は全校生徒29名の小さな学校ですが、月形町から多大な支援をいただいております。そして、町内の皆様にお世話になり学習活動を行っています。皆様のご協力に感謝しております。特に探究学習では、月形を知り（1年生）、体験し（2年生）提言する（3年生）取組を推進しています。さらに今年度は、ボランティア活動が再開されることも期待しています。『月形お助け隊』として、ボランティア活動に積極的に取り組み、お世話になっている月形町に生徒の力を還元できる活動ができればと準備を進めてきました。学習面では、北海道地域連携校の導入により北海道高等学校遠隔授業配信センターから国公立大学進学者向け授業を受信し、道内国立大学や本州私立大学への合格など、多様な進路に対応する学びを提供しております。

結びになりますが、今年度も生徒一人一人に寄り添う教育を推進して参りますので、引き続きご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

安達校長と一緒に、この4月に着任されたお二人の先生を紹介します

遠田睦浩（理科、情報） 江別高校より
初めまして。遠田（エンダ）といいます。理科と情報を担当します。縁があって月形高校にお世話になることになりました。生徒の皆さんにとって、充実した楽しい高校生活になるためのお手伝いができればいいなと思っています。よろしくお願いします。



大久保城治（商業） 札幌東高校より
念願の月形高校に異動することができました。今までの学校とは全く違う学校なので、何もかもが新鮮でドキドキしています。皆さんと一緒に過ごす時間は、私にとっても大変に貴重な財産となると確信しています。どうぞよろしくお願い致します。



笑顔満開！ 新たな門出

1年担任 加藤 恭子

令和5年度、4中学校から7名の生徒を迎えることになりました。今まで育ってきた環境が違う7名がこの月形高校に集まった「縁」を大切に、充実した高校生活を送ってほしいと思います。そのお手伝いを担任としてさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



五十嵐明日華さんによる堂々の生徒宣誓



対面式では新入生代表の加藤悠聖くんから先輩に向けて立派に挨拶がありました



3年今井日登くんの海外冒険の旅

この春休みを利用して、海外研修に出掛けた今井くんにインタビューしてみました。

Q 今回の海外研修はどんなプログラムを利用したのですか？ 行先も教えてください。

「今回の海外研修は、中学2年生までに英検準2級を取得すると海外研修の資金援助がある月形町の制度を利用して行きました。行先はフィジーで、期間は約2週間くらいでした。」

Q 研修期間の生活を具体的に教えてくださいませんか？ 授業内容も紹介して下さい。

「日本での生活と同じで、午前8:00から午後2:30くらいまで学校に行っていました。放課後は外食をしたり、買い物をしたりしていました。授業内容は配布されたプリントで学習したり、スピーチをしたり、テーマトークなどをやりました。」

Q 海外研修に行こうと思ったきっかけは何だったのですか？ その相談をしたときの親の反応はどうでしたか？

「そもそも海外研修については、親から聞いて知りました。僕も一度海外へ行って、直に外国人と話してみたいと思っていたので決意しました。」

Q 実際にホームステイさせていただいたご家庭はどんな方たちでしたか？

「私がホームステイをした家は3人家族でした。家族の方々はみんなとても優しく、色々気を遣ってくださいました。8歳の息子さんとはリビングで遊んだりしました。」



Q この期間での一番の思い出は何ですか？

「サウスシー・アイランドという島に行ったことです。島では海に入ったり、ビーチバレーをしたり、アクティビティをしたりしました。初めての体験ばかりでとても楽しい思い出になりました。何より10人で行ったので、飽きることなく楽しめました。」

Q この経験を通して、あなたが手に入れたものは何だと感じますか？

「コミュニケーション能力だと思います。最初は緊張して上手く話すことが出来ませんでしたが、学校に行ってクラスメイトに「Don't be shy!」と言われてから、積極的に知らない人とも話せるようになりました。」

Q 帰国後の自分と研修前の自分を比べたときに、何か変化したことはありましたか？

「研修前よりも英語が聞き取れるようになりました。研修初日の授業では先生が何を言っているかさっぱり分からず、クラスメイトに聞きながら受けていましたが、一週間くらいで自分で聞き取れるようになりました。」

Q 高校生活も残り1年となりましたが、どんな学校生活にしたいですか？

「残った時間は少ないですが、新しい事にもっと挑戦したい友達との思い出もたくさんつくりたいです。それともう一度海外研修に行きたいので、もっと上の級の英検にも挑戦しようと思います。いい経験になりましたね。」

